

## 図表目次

図 - 1.2.1	富士山ハザードマップ検討委員会 検討の流れ	5
図 - 2.1.1	富士山の生い立ち	9
図 - 2.1.2	富士山噴出物の分布	10
図 - 2.1.3(a)	新富士火山の火山噴出堆積物とその形成年代	11
図 - 2.1.3(b)	新富士火山の火山噴出堆積物とその形成年代	12
図 - 2.1.4	富士山の歴史時代の噴火史	13
図 - 2.2.1	富士山における3200年前以降の火口形成実績図	16
図 - 2.2.2	滝沢火砕流-B(約1700-1500年前)の推定分布範囲	18
図 - 2.2.3	大沢火砕流-2(約3200年前)の推定分布範囲	18
図 - 2.2.4	大沢火砕流-3(約3200年前)の推定分布範囲	18
図 - 2.2.5	宝永噴火の噴出率(時間あたりの噴出量(DRE))の推移	19
図 - 2.2.6	宝永噴火の噴出量(DRE)の累積値の推移	19
図 - 2.2.7	貞観噴火の溶岩流の推移	20
図 - 2.2.8	宝永噴火後の酒匂川の洪水氾濫実績図	21
図 - 3.1.1	約6,000年前からの富士山噴火による噴出量(DRE)の累積図	25
図 - 3.2.1	過去3200年間の各噴火のマグマ噴出(DRE)体積	26
図 - 3.2.2	ステージ区分と噴火規模の関係	27
図 - 3.4.1	富士山で起こりうる噴火について、噴火場所、噴火様式、 規模、噴出物などの組み合わせを示す図(イベントツリー)	31
図 - 4.1.1	実績から求めた火口	33
図 - 4.1.2	実績火口中心と想定火口線の関係	34
図 - 4.1.3	約3200年前以降の互いの火口間の最短距離の分布	35
図 - 4.1.4	規模毎の想定火口範囲	36
図 - 4.2.1	溶岩流の噴出率実績値	38
図 - 4.2.2	溶岩流実績と数値シミュレーション結果の比較	40
図 - 4.2.3	大規模噴火の想定火口(計算開始点)	42
図 - 4.2.4	中規模噴火の想定火口(計算開始点)	42
図 - 4.2.5	小規模噴火の想定火口(計算開始点)	42
図 - 4.2.6	溶岩流のドリルマップ(小規模噴火に対する溶岩の到達時間)	43
図 - 4.2.7	溶岩流のドリルマップ(中規模噴火に対する溶岩の到達時間)	44
図 - 4.2.8	溶岩流のドリルマップ(大規模噴火に対する溶岩の到達時間)	45

図 - 4.2.9	メッシュ間隔により変化が大きい場合 (小規模噴火に対する溶岩の到達時間)	46
図 - 4.2.10	メッシュ間隔により変化が少ない場合 (小規模噴火に対する溶岩の到達時間)	46
図 - 4.3.1	実績火砕流と数値シミュレーション結果の比較	49
図 - 4.3.2	火砕流発生領域	50
図 - 4.3.3	計算開始点の標高の違いによる到達距離の比較	51
図 - 4.3.4	火砕流の計算開始位置	52
図 - 4.3.5	火砕流と火砕サージの到達距離	52
図 - 4.3.6	火砕流ドリルマップ	53
図 - 4.4.1	河道断面の修正の模式図	57
図 - 4.4.2	融雪型火山泥流の計算開始点	58
図 - 4.4.3	融雪型火山泥流のドリルマップ	59
図 - 4.5.1	噴出物総量と噴出率から噴煙柱の高さを求める手法	61
図 - 4.5.2	噴煙柱内での火砕物分布イメージ	62
図 - 4.5.3	ネスティングの概念	62
図 - 4.5.4(a)	宝永噴火の噴出率(時間あたりの噴出量(DRE))の推移	63
図 - 4.5.4(b)	宝永噴火の噴出量(DRE)の累積値の推移	63
図 - 4.5.5	1960年12月の気象場を用いた降灰予測分布	64
図 - 4.5.5	過去45年間の平均的な気象場を用いた 各月毎の大規模降灰予測分布(1月~6月)	67
図 - 4.5.6	過去45年間の平均的な気象場を用いた 各月毎の大規模降灰予測分布(7月~12月)	68
図 - 4.5.7	過去45年の平均的な気象場を用いた各月ごとの 中規模噴火降灰予測分布(1月~6月)	70
図 - 4.5.7	過去45年の平均的な気象場を用いた各月ごとの 中規模噴火降灰予測分布(7月~12月)	71
図 - 4.5.8	過去45年の平均的な気象場を用いた各月ごとの 小規模噴火降灰予測分布(1月~6月)	72
図 - 4.5.8	過去45年の平均的な気象場を用いた各月ごとの 小規模噴火降灰予測分布(7月~12月)	73
図 - 5.1.1	規模毎の想定火口範囲	75
図 - 5.2.1	溶岩流可能性マップ	76
図 - 5.3.1	火砕流・火砕サージ可能性マップ	77
図 - 5.4.1	融雪型火山泥流可能性マップ	78
図 - 5.5.1	降灰可能性マップ	79

図 - 5.6.1(a) 噴石の大きさと到達距離の関係	80
図 - 5.6.1(b) 桜島における噴石の飛距離のヒストグラム	82
図 - 5.6.2 噴石到達可能性範囲中・小規模(2km)	83
図 - 5.6.3 噴石到達可能性範囲大規模(4km)	83
図 - 5.6.4 噴石可能性マップ	84
図 - 5.6.5 宝永噴火(Ho- a)による軽石粒径の分布範囲	85
図 - 5.7.1 等高線から判断して谷地形となる地点	86
図 - 5.7.1 土石流可能性マップ	87
図 - 6.3.1 火山防災マップ(想定火口)	93
図 - 6.3.2 火山防災マップ(溶岩流)	95
図 - 6.3.3 火山防災マップ(火砕流・火砕サージ)	96
図 - 6.3.4 火山防災マップ(融雪型火山泥流)	97
図 - 6.3.5 火山防災マップ(噴石)	98
図 - 6.3.6 火山防災マップ(降灰)	99
図 - 6.3.7 火山防災マップ(土石流)	101
図 - 6.3.8 火山防災マップ(災害実績図)	102
図 - 6.3.9 富士山全体火山防災マップ	103
図 - 6.3.10 富士山火山防災マップ	104
図 - 6.3.11 富士吉田市火山防災マップ	106
図 - 6.3.12 御殿場市火山防災マップ	106
図 - 6.3.13 富士市火山防災マップ	107
図 - 6.3.14 足柄上地区火山防災マップ	107
図 - 6.3.15 小田原市火山防災マップ	108
図 - 6.4.1 溶岩流のドリルマップ(左)と可能性マップ(右)	113
図 - 6.4.2 溶岩流実績図	113
図 - 6.4.3 各段階で行う防災対策の一例	114
図 - 6.4.4 地域避難編・災害対策本部用	115
図 - 6.4.5 地域避難編・災害対策本部用	115
図 - 6.4.6 富士吉田市防災用基図の例	116
図 - 6.5.1 観光マップ表面	122
図 - 6.5.2 観光マップ裏面	123
図 - 6.7.1 市町村版富士山火山防災マップの作成方法	128
図 - 6.7.2(a) 地形と流下範囲	130
図 - 6.7.2(b) 地形と流下範囲	130
図 - 10.2.1 地震観測点(平常時)	164

図 - 10.2.2	GPS 観測点（平常時）	165
図 - 10.2.3	観測体制強化のイメージ図	166
図 - 10.2.4	火山活動や避難に関する情報体系図	168
図 - 10.2.5	防災情報の共通プラットフォーム化のイメージ	170
図 - 10.2.6	火山活動の状況と避難の考え方	181
図 - 10.2.7	登山者入山規制範囲（臨時火山情報発表時）	182
図 - 10.2.8	避難範囲（臨時火山発表時に観光客、災害時要援護者を対象）	183
図 - 10.2.9	避難範囲（積雪期に臨時火山発表時に観光客、災害時要援護者を対象）	184
図 - 10.2.10	避難範囲（緊急火山発表時に一般住民を対象）	185
図 - 10.2.11	避難範囲（噴火場所が絞り込めた場合）	186
図 - 10.2.12	避難範囲（ごく小規模な噴火が発生した場合）	187
表 - 2.1.1	新富士火山の主な噴火ステージ	7
表 - 2.2.1	主な火砕流の規模・堆積温度など	18
表 - 3.3.1	富士山で発生しうる災害要因表	29
表 - 4.2.1	検証計算の対象とした溶岩流実績	37
表 - 4.2.2	計算条件一覧（5箇所の溶岩流の検証）	39
表 - 4.2.3	パラメーター一覧	39
表 - 4.3.1	計算パラメーター一覧	48
表 - 4.4.1	パラメーター一覧	56
表 - 4.5.1	設定した噴火ステージ別の平均粒径	64
表 - 4.5.2	中規模・小規模の計算条件	69
表 - 5.6.1	噴石の大きさと到達距離の関係	81
表 - 6.3.1	一般配布用火山防災マップ試作の考え方	90
表 - 6.3.2	一般配布用火山防災マップに必要な項目	92
表 - 6.3.3	地域版火山防災マップの特徴	105
表 - 6.4.1 (1)	防災業務用火山防災マップ試作の方針	109
表 - 6.4.1 (2)	防災業務用火山防災マップ試作の方針	110
表 - 6.4.2	防災業務用火山防災マップに必要な項目	111
表 - 6.4.3 (1)	試作した防災業務用火山防災マップの目次	117
表 - 6.4.3 (2)	試作した防災業務用火山防災マップの目次	118
表 - 6.4.3 (3)	試作した防災業務用火山防災マップの目次	119
表 - 6.4.3 (4)	試作した防災業務用火山防災マップの目次	120

表 - 7.2.1	項目ごとの被害想定の内容	133
表 - 7.3.1	宝永噴火（降雨がない場合）による被害想定結果	136
表 - 7.3.2	宝永噴火（年間の平均的な降雨の場合）による被害想定結果	137
表 - 7.3.3	宝永噴火（梅雨期の場合）による被害想定結果	138
表 - 8.3.1	噴火前の火山情報の有無による対応課題の対照	144
表 8.4.1	火山現象ごとの特徴及び課題＜噴石＞	145
表 8.4.2	火山現象ごとの特徴及び課題＜溶岩流＞	145
表 - 8.4.3	火山現象ごとの特徴及び課題＜火砕流・火砕サージ＞	146
表 8.4.4	火山現象ごとの特徴及び課題＜融雪型火山泥流＞	146
表 8.4.5	火山現象ごとの特徴及び課題＜降灰（大量の場合）＞	147
表 8.4.6	火山現象ごとの特徴及び課題＜降灰後の土石流＞	148